

報道関係各位

2019年11月15日

## LIXILグループ コーポレート・レスポンシビリティの目標を更新

株式会社 LIXIL グループ (以下 LIXIL グループ) は、この度、コーポレート・レスポンシビリティ (CR) 戦略に基づいたサステナビリティの目標を更新しました。

これまでも「グローバルな衛生課題の解決」、「水の保全と環境保護」、「多様性の尊重」の3つの優先取り組み分野に焦点を当て、積極的な取り組みを進めてきましたが、新たな目標の設定や見直しにより、事業活動を通じた社会課題の解決に向けた CR 活動をさらに加速させていきます。



開発途上国向け簡易式トイレシステム「SATO」の提供を通じて、インド・トリチー村にある学校の衛生環境を改善

LIXIL グループでは、当社事業との関連性が高く、大きな貢献が期待できる3つの優先取り組み分野を設定し、CR活動を推進してきました。各分野における目標の達成は、国連が掲げる持続可能な開発目標 (SDGs) の実現にも貢献するものです。

### ■ グローバルな衛生課題の解決

世界では、約20億人の人々が安全で衛生的なトイレのない生活を送っています。LIXIL グループは、かねてより、世界で1億人の衛生環境を改善し、生活の質の向上につなげることを目標として掲げてきましたが、この達成時期を2020年から2025年までに延長します。開発途上国の衛生環境を改善する代表的な事業「SATO」は、ソーシャルビジネスとして基盤を強化するとともに、様々な組織と連携することで、世界で約1,500万人の衛生環境の改善<sup>\*1</sup>に貢献するという大きな成果をあげてきました。当初の計画通り目標を達成することはできなかったものの、2025年までに、1億人の衛生環境の改善を目指すという新しい目標の達成に向けて、取り組みをさらに加速させていくための体制を確立しています。

※1: SATO 一台につき、利用者5人として算出

### ■ 水の保全と環境保護

2016年3月期に設定した環境ビジョン<sup>\*2</sup>の実現を目指した活動により、事業所からの二酸化炭素排出原単位の削減目標を計画より2年前倒しで達成することができました。LIXIL グループでは今後も地球環境の未来のために、意欲的な環境活動を推進していきます。気候変動対策のための国際的枠組みであるパリ協定に則り、事業活動における環境負荷の低減に努め、環境に配慮した製品・サービスの提供を通して、

2050年までにCO2排出量実質ゼロを目指します。例えば、事業で使用する電力の100%を再生可能エネルギーにすることを目指す企業イニシアチブ「RE100」に新たに参加し、再生可能エネルギーの活用を促進していきます。加えて、資源循環型の製品ライフサイクルを構築していくことや、「住まい」と「暮らし」に関わる先進技術を最大限に活用することにより、持続可能な水利用や資源循環の分野においても、業界をリードしていきます。

※2：LIXILグループコーポレート・レスポンスビリティ報告2016 (p19)： [https://www.lixil.com/jp/sustainability/cr\\_library/pdf/LIXIL\\_CR2016\\_ja\\_v1.pdf](https://www.lixil.com/jp/sustainability/cr_library/pdf/LIXIL_CR2016_ja_v1.pdf)

## ■ 多様性の尊重

多様性の分野に関しては、現段階では目標の更新はありませんが、取り組みの強化を継続的に進めています。2020年までに、すべての従業員にダイバーシティ&インクルージョン文化を浸透させるとともに、2030年までに日本国内で提供するすべての製品・サービスについて、すべての人の暮らしやすさに配慮した [LIXILユニバーサルデザインコンセプト](#)に基づくものとします<sup>※3</sup>。

※3：日本国内で提供する製品・サービスが対象（2019年8月時点）

LIXILグループでは、2016年に改訂したCR戦略に基づき、取り組みを強化してきましたが、その活動は社外からも高い評価を受けています。LIXILグループは、世界的な社会的責任投資指標であるDow Jones Sustainability World Index (DJSI World) や Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index、FTSE4Good Index、FTSE Blossom Japan Index、MSCI日本株女性活躍指数(WIN)の構成銘柄に選定されています。また、持続可能な水資源の管理手法が評価され、国際的な非営利団体CDPの最高評価「ウォーターAリスト企業」に選定されたのに加え、2018年には衛生分野の取り組みが「ジャパンSDGsアワード」にて、「SDGs推進副本部長（外務大臣）賞」を受賞しました。

### LIXILグループ 社長兼CEO 瀬戸欣哉のコメント

「社会の中で、企業に求められる役割は多岐にわたります。LIXILグループでは、世界中の人々のより豊かで快適な暮らしと住まいの実現に貢献するという、企業としての存在意義を全社で共有し、事業活動の原動力としています。サステナビリティ目標を策定した2016年から大きな成果を挙げられたことを誇りに思います。この度更新したサステナビリティ目標は、世界の衛生環境の改善や気候変動への対応、ユニバーサルデザイン製品の開発といった取り組みをさらに加速させるものです。社会課題の解決に取り組むことで新たな価値を創出するとともに、事業の成長にもつなげていきます」

LIXILグループのCR戦略および活動の詳細については、[ウェブサイト](#)をご覧ください。

## <参考資料>

### ■LIXILグループのCR戦略：3つの重要課題と目標

#### グローバルな衛生課題の解決



##### すべての人に衛生を

2025年までに衛生環境の改善に関する取り組みを通じ、1億人の生活の質を向上させます

- > 衛生課題の解決に貢献する製品の研究開発を推進する
- > 途上国におけるトイレの衛生環境を改善するビジネスを展開し、持続可能なものとする
- > 世界各地で展開するLIXILの事業活動を通じて、グローバルな衛生課題の解決に貢献する施策・活動を促進する

#### 水の保全と環境保護



##### CO<sub>2</sub>ゼロ・循環型の暮らしを

2050年までに、事業活動と製品・サービスを通じたCO<sub>2</sub>排出実質ゼロを実現し、水の恩恵と限りある資源を次世代に繋ぐものづくりにおけるリーディングカンパニーとなります。

- > ライフサイクル全体を考慮した製品・サービスの環境配慮設計と拡販を推進する
- > すべての事業プロセスにエネルギー使用効率の改善、再生可能エネルギーの活用などによるCO<sub>2</sub>削減、水使用効率の向上、資源循環の推進などを組み込み、環境負荷を低減する

#### 多様性の尊重



##### すべての人に働きがい、すべての人により製品を

2020年までにすべての従業員にダイバーシティ&インクルージョン文化を浸透させます。

2030年までにすべての製品・サービス※をLIXILユニバーサルコンセプトに基づくものとします。

- > グループ全体で、各エリアにおけるダイバーシティの取り組みを推進する
  - > 「ひとりにいい、みんなにいい、ずっといい」ユニバーサルデザイン商品やサービスの開発を進める
- ※日本国内で提供する製品・サービスが対象（2019年8月時点）

### ■LIXILのコーポレート・レスポンスイビリティ（CR）戦略について

LIXILは、責任ある持続可能なイノベーションを追求し、世界中の人びとの暮らしの質の向上とビジネスの成長を同時に実現することを目指しています。事業戦略とCR戦略の一体化を進めるとともに、「グローバルな衛生課題の解決」、「水の保全と環境保護」と「多様性の尊重」の3つの分野に焦点を当て、積極的な取り組みを推進しています。こうした取り組みを通じて、国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献しています。

### ■LIXILについて

LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約75,000人の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。LIXILなどのブランドを展開する、株式会社LIXILグループ（証券コード: 5938）は、2019年3月期に1兆8,326億円の連結売上高を計上しています。

LIXILについて：[www.lixil.com/jp](http://www.lixil.com/jp)、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>